



社協だより

第79号

■天王センター

TEL (018) 878-6538
FAX (018) 878-7127

■昭和センター

TEL (018) 877-5017
FAX (018) 877-4108

■飯田川センター

TEL (018) 877-2627
FAX (018) 854-8251
有線 3028



不法投棄はストップ!

豊かな環境を守りましよう

天王・飯田川つくし苑合同クリーンアップ

銀世界に覆われた長い冬も、ようやく雪が融け、温かい春の日差しを感じる今日この頃です。

しかし、例年雪解けとともに顔を出すのが不法投棄された「ゴミ」です。春の訪れとともに外出する機会が多くなりますが、その際、一番不快に感じるのがこの「ゴミ」でしょう。

四月九日、天王・飯田川つくし苑の利用者二十二名が、社会人として、地域のために貢献する「こと」を目的に、潟上市クリーンセンター周辺のクリーンアップを行いました。八郎湖の堤防脇には、不法投棄された空き缶、ペットボトルを始めとして、なべ、飲料のケース、枕やバスタオル：まで散在。

当日は冷たい強風の中、一時間ほどで軽トラックいっぱいのごみを拾い集めました。作業を終えた皆さんは、充実感とともに、不法投棄されたゴミの多さに、驚きを隠せない様子でした。自然を守り、環境を保護することが私たちに課せられた使命です。

一人一人の心がけて、「潟上市の環境」を守りましよう。



↑ “チリ”も積もれば
大きなゴミの山になります。

たくさんの“ゴミ”に袋も
すぐにいっぱいになります。



△元気いっぱい。多くの方が参加した「ふれあいサロン」

～地域福祉の充実を目指して～

思いやる心を大切に!!

主な事業内訳

(単位：千円)

法人運営事業	68,411
ボランティア事業	1,339
たすけあい資金貸付事業	5,734
生活福祉資金貸付事務事業	252
生活福祉資金相談体制整備事業	2,500
家族介護支援対策受託事業	2,310
緊急通報体制整備事業	3,151
心配ごと相談所事業	758
老人憩いの家・創作館管理運営事業	1,588
屋内ゲートボール場管理運営事業	3,265
共同募金配分事業	2,691
居宅介護支援事業	16,750
訪問介護事業	31,959
訪問入浴事業	4,761
障がい福祉サービス事業	5,606
特定旅客自動車運送事業	822
シルバー人材センター事業	43,597
その他	6,598
計	202,092

- ① 世代間交流の推進
- ② シルバー人材センターの周知
- ③ 高齢者ふれあいサロンの地域開催の推進
- ④ 障がい児者の自立支援の強化
- ⑤ 障がい児者の社会参加のための相談機能の強化
- ⑥ 家族介護者交流会の開催
- ⑦ 居宅介護事業の推進
- ⑧ 地域トータルケアの推進
- ⑨ サポート委員会の検討
- ⑩ 要援護世帯の児童・生徒への修学旅行費の助成
- ⑪ 人にやさしいまちづくり探検隊の開催
- ⑫ ボランティアスクールの開設
- ⑬ 災害ボランティア組織体制の強化
- ⑭ 市民や企業からのボランティア活動参加への促進
- ⑮ 子育て支援と高齢者の社会参加の支援
- ⑯ コミュニティソーシャルワーカーの養成
- ⑰ 地域防災体制の強化
- ⑱ 要援護者並びに高齢化世帯への防災の周知
- ⑲ 地域防災訓練の周知
- ⑳ 除雪機の活用の推進
- ㉑ 広報活動の充実
- ㉒ 社協事業の周知
- ㉓ 重点事業の周知
- ㉔ ホームページの周知・充実
- ㉕ 財政基盤の強化
- ㉖ 補助金、助成金、委託費の確保
- ㉗ 会員加入のPR、会費・寄付金の確保
- ㉘ 赤い羽根共同募金の周知
- ㉙ 赤い羽根共同募金の周知
- ㉚ 地域福祉活動計画に基づく組織及び事業再編
- ㉛ シルバー人材センターの周知
- ㉜ ボランティアセンターの強化

今日の社会情勢は、不況に伴う格差社会の拡大や高齢化社会における地域の過疎化が進み、多くの福祉課題を抱える中、住民ニーズは年々多

様化の一途を辿っています。全国的には生活困窮者や生活保護者への対応など多くの課題が山積し、社協の役割と合わせ、生活指導への対応が新たに期待されています。

震災から早や二年の歳月が流れ、年々、「緊張感」が薄れる中において、防災体制の整備は喫緊の課題であり、全国的に災害ボランティアセンターの設置が急務となつてい

平成二十五年度潟上市社会福祉協議会の事業計画並びに予算(案)が、三月一日開催の理事会・評議員会において承認されました。

理事会では、勇退された三浦光朗前会長に代わって、石川久悦氏(天王)が新たに会長に選任されました。石川会長は「厳しい社会環境ですが、福祉の後退はあってはならない。今後とも地域福祉の充実を努めたい」とあいさつ。副会長には、川上景昭氏(昭和)と、伊藤義弘氏(飯田川)の両名が選任されました。

また、被災地への支援体制は今後も継続が必要です。

潟上市社会福祉協議会では、こうした社会情勢を踏まえ、地域住民や行政・関係機関と協働し、住民総

参加による福祉活動を展開し、「思いやりのある福祉でまちづくり」の支援体制を強化し、地域福祉の推進を図ります。

◎基本目標

共に支え 共にたすけあい 共に生きる ふれあいのまちづくり 誰もが安心して暮らせる やさしくあたたかなまちづくりを目指します

◎二十五年度 重点方針

- 1 支えあう福祉(トータルケア事業)の推進
- 2 高齢化社会に対応した地域活性化事業の推進
- 3 災害ボランティアセンターの設置・運営

◎重点目標と推進事項

- 1 在宅福祉の充実
 - ① ネットワーク活動の拡充による安否確認の強化
 - ② 要援護者の防災意識の高揚
 - ③ ふれあい安心電話による緊急通報体制の充実
 - ④ いきいきサロンの事業の拡大
 - ⑤ 介護用品支給及び寝具洗濯乾燥サービスの提供
- 2 地域福祉活動の推進
 - ① 福祉座談会の促進
 - ② 福祉活動計画の策定
 - ③ 社会福祉大会の開催
- 3 福祉教育の推進とボランティア活動の促進
 - ① 福祉教育の推進と助成



就任にあたって

潟上市社会福祉協議会
会長 石川久悦

三月一日開催の理事会において、不肖私が会長に選任され、早や二ヶ月が経ちました。この間、関係機関への挨拶まわり、会長就任の諸手続き、職員への辞令交付等があり、改めて責務の重さを感じているところであります。

三月二十六日に理事会、同日午後には評議員会を開催し、それぞれの会議に於いて平成二十五年度の事業計画、予算等を審議していた

この詩を力として、福祉活動に努めて参ります。ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

むくい
河野進



お知らせ

日常介護用品支給

在宅で、常時紙おむつを使用している寝たきりの方に紙おむつを支給します。

対象 介護保険「要介護度3・4・5」に認定されている方。身体に障がいのある方。

負担額 無し

寝具類洗濯乾燥消毒サービス

要援護者で寝具類の衛生管理に困難をきたしている方に、業者が自宅へ回収に行き、洗濯をして配達します。

洗濯中に代替の寝具を貸し出すサービスもあります。(※数に限りがあります)

対象

- ・虚弱な65歳以上の一人暮らしの世帯
- ・虚弱な65歳以上の高齢者のみの世帯
- ・身体に障がいを持ち、寝具の衛生管理が困難な方

負担額 かかった費用の一割

申込み

申込み用紙を5月10日(金)までに各センター、または、地域の民生委員にお届け下さい。

心配ごと相談所

受付時間 10:00～15:00

月 天王センター TEL 878-6538

水 昭和センター TEL 877-5017

金 飯田川センター TEL 877-2627

どこでも相談を受付けています

善意

ありがとうございます

4月15日までの受付



〔香典返し〕

天王(大崎) 三浦 志保子様
昭和(中町) 菅原 興樹様

〃(大清水) 関谷 鋼二様
〃(宮の前) 工藤 行二様
〃(上橋) 菅原 知和様
〃(乱橋) 高橋 則行様

飯田川(妹川浜) 鎌田 兼美様
〃(下町) 菅原 善知様
〃(上町) 菅原 則和様

〔一般寄付〕

天王(追分) 熊谷 多雅治様
〃(出戸新町) 安田 静男様

昭和(下町) 菅原 實様
(事務用品)

飯田川(柳田) 菊地 眞琴様
(介護用品)

みなさまの善意は福祉のため
大事に使わせていただきます。

菅原昭治氏 前社協副会長 逝去



去る二月十五日、潟上市

社会福祉協議会前副会長の

菅原昭治氏(享年八十三歳)

が死去されました。故人は、

長年にわたり社会福祉活動

に意を注ぎ、多くの方々か

ら信頼、信任されてきまし

た。平成九年に旧昭和町社会福祉協議会評議員として、

そして平成十七年からは、潟上市社会福祉協議会理事・

副会長として活躍。特に「手をつなぐ育成会」の活動に

は多大な貢献をされ、多くの福祉功労を受賞されてい

ます。故人のご冥福をお祈り申し上げます。



軽トラック運転中の交通死亡事故多発!!

農繁期を迎え、軽トラックを運転する機会が増えますので、次のことに注意して下さい。

- ・うっかり、ぼんやり運転に注意しましょう。
- ・交差点では、必ず安全確認をしましょう。
- ・体調が悪い時は、運転をひかえましょう。

近くまでの運転でも必ずシートベルトを着用しましょう!

お問い合わせ先

五城目警察署 交通課 TEL 018-852-4100

編集後記



風薫る季節となりました。青葉若葉を吹きわたる爽やかな初夏の風を感じながらの散歩はとて心地よく、ストレス解消にも効果がありそうです。今年春先にかけて黄砂や花粉、PM2.5などのニュースが多く報道されました。車や窓を洗ったのにすぐ汚れてしまったという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今月号は天王・飯田川つくし苑の清掃活動をご紹介します。地域のために何かできることはないだろうかと始められたそうです。環境問題、深刻な大気汚染に対して個人ができることは多くないかもしれませんが、わたしも身近なことから始めてみようと思います。

⑨